

## 7.避難するときは！



### ◎避難勧告が発令された場合の住民に求める行動

※このような情報等の発令は、公民館からのマイク放送や広報車、テレビやラジオなどを通じて周知します。

避難準備情報	避難勧告	避難指示
避難勧告より前の段階で発令され、避難に時間を要する高齢者や障がい者などに避難開始を、その他の人々に避難準備を求めるものです。	勧告とは、その地域の居住者などを拘束するものではないが、居住者などが勧告を尊重することを期待して、避難のための立ち退きを勧め、または促す行為です。	指示とは、被害の危険が目前に切迫している場合等に発せられ、勧告よりも拘束力が強く、居住者などを避難のため立ち退かせるものです。
<b>■住民に求める行動</b>	<b>■住民に求める行動</b>	<b>■住民に求める行動</b>
①要援護者など、特に避難行動に時間を要する者は、避難場所などへの避難行動を開始すること。 ②上記以外の者は、家族などとの連絡、非常用持ち出し品の用意など、避難準備を開始すること。	①通常の避難行動ができる者は、計画された避難場所（P17～P28）などへの避難行動を開始すること。 ※ 災害の種類により避難所が異なります。 ※ 大規模な災害が発生した場合等は、市が避難所を指定します！	①避難勧告などの発令後で避難中の住民は、確実な避難行動を直ちに完了すること。 ②未だ避難していない対象住民は、直ちに避難行動に移るとともに、そのいとまがない場合は、生命を守る最低限の行動をとること。

### 避難時の服装



### ⑥ 荷物は最小限に



## 8.日頃から災害に備えよう

### 非常時持ち出し袋と保管

1. 持ち出し袋はリュックサック等なるべく両手が使えるタイプ
2. 1人1個程度に分散して収納しておく
3. 季節や有効期限などで中身を入れ替える
4. すぐに取り出しやすい所に保管しておく



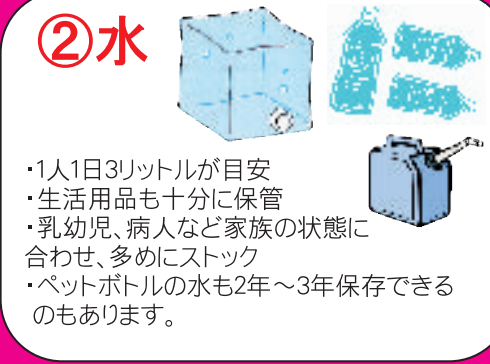
### ① 食料

レトルト、フリーズドライ、缶詰などさまざまな保存食がありますが、特にご飯やパンは重要です。  
チョコレート、あめ玉も貴重になります。



### ② 水

1人1日3リットルが目安  
生活用品も十分に保管  
乳幼児、病人など家族の状態に合わせ、多めにストック  
ペットボトルの水も2年～3年保存できるものもあります。



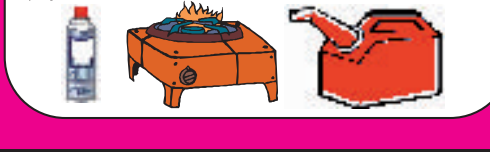
### ③ 照明・情報器具

懐中電灯（1人1個）  
正しい情報の入手の為、ラジオは欠かせません  
（予備の電池も十分にストック）



### ④ 燃料

ガスコンロが使えなくなったことを想定すると卓上カセットコンロや固形燃料があると便利です。  
カセットコンロのボンベの予備もわすれずに!



### 持ち出し袋に用意するもの チェックリスト

#### ◆貴重品

- 現金
- 印鑑
- 保険証 など



#### ◆小物・道具類

- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 予備の電池



#### ◆衣類（季節に合わせて）

- 下着類
- 靴下
- 手袋・軍手
- 帽子
- セーター、ジャンパー
- ひざかけ 等
- 雨具



#### ◆カセットコンロ・固形燃料

- 敷物
- 古新聞
- 箸・フォーク
- 栓抜き・缶切り
- 大・小ビニールひも
- 粘着テープ
- 生理用品
- ハンカチ
- ティッシュ、ウエットティッシュ
- 使い捨てカイロ
- 筆記用具等



#### ◆洗面用品

- 石けん
- 歯磨き用品
- タオル など



#### ◆赤ちゃん用品

- 粉ミルク
- ほ乳ビン
- おむつ類
- ベビーパウダー
- おもちゃ など



#### ◆医療品

- 常備薬
- 消毒液
- 包帯、ばんそうこうなど



#### ◆水・食料品

- 飲料水
- 各種食品（缶詰・カップ麺等）
- こどものおやつ など

